

## 薬用・有毒植物図鑑をつくろう！

科目責任者 阿 部 渉  
学年・学期 1 学年・3 学期

### I. 前 文

本学構内に生育する薬用植物および有毒植物を対象として、押し葉標本（ラミネート加工）を作製する。作製した標本について種の同定を行い、薬用植物あるいは有毒植物としての特徴を調査し、世界に一つだけの「薬用・有毒植物図鑑」を完成させる。これらの活動を通じて、薬用植物および有毒植物に関する基礎的知識の習得を目指す。なお、野外実習における安全確保および機材の制約上、受講者数は2名までとする。

### II. 担当教員

准教授 阿 部 渉（基盤教育部門）

### III. 一般学習目標

身近に生育する薬用植物および有毒植物の基本的特徴を理解する。

### IV. 学修の到達目標

- ・押し葉標本（ラミネート標本）を作製できる。
- ・身近な薬用植物および有毒植物を同定し、それらの基本的な特徴を説明できる。

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）の学修目標：

PR-03-01-01 人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。(p. 20)

RE-01-01-02 何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。(p. 27)

### V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1：反転授業の要素を含む授業（知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。）  
2：ディスカッション、ディベート 3：グループワーク 4：実習、フィールドワーク 5：プレゼンテーション  
6：その他 空欄：該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	10	7	水	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学構内において薬用植物および有毒植物を採集する。</li> <li>・押し葉標本（ラミネート標本）を作製する。</li> <li>・図鑑などを使って、標本を同定し、薬用植物や有毒植物としての特徴を調べる。</li> <li>・自分だけの薬用・有毒植物図鑑を完成させる。</li> </ul> 本科目は、時間延長を必要とする実習を含み、また植物採集が天候に左右されるため、授業日程は通常の時間割ではなく、別途調整して決定する。実習は3回（場合によっては4回）に分けて行い、全体で7コマ分となるように構成する。	阿 部 渉	4
2	10	14	水	4			
3	10	21	水	4			
4	10	28	水	4			
5	11	4	水	4			
6	11	11	水	4			
7	11	18	水	4			

### VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

作製物（植物図鑑）（90%）および授業への参加態度（10%）に基づき評価する。

## Ⅶ. 教科書・参考図書・AV資料

### 〔教科書〕

以下の資料を配布する。

『令和8年度人文自然選択科目 薬用・有毒植物をつくろう!』

日本植物園協会第四部会編著(2020) 薬草ガイドブック：野外編, 改訂版. 日本植物園協会.

日本植物園協会第四部会編著(2019) 薬草ガイドブック：薬草園へのいざない, 改訂版. 日本植物園協会.

### 〔参考図書〕

大橋広好ほか編(2021) 日本の野生植物：フィールド版 I, 改訂新版. 平凡社.

大橋広好ほか編(2021) 日本の野生植物：フィールド版 II, 改訂新版. 平凡社.

佐竹元吉監修(2012) 日本の有毒植物. 学習研究社.

小川賢一, 篠永哲, 野口玉雄監修(2003) 危険・有毒生物. 学習研究社.

木村孟淳, 酒井英二, 牧野利明編(2023) 新訂生薬学, 改訂第9版増補. 南江堂.

田中耕一郎編著(2020) 生薬と漢方薬の事典. 日本文芸社.

森正孝, 森昭雄, 國分英俊(2019) 薬草の眩き：対馬から日本各地の山野へ薬草園へ, 追補再改訂版. メディカルサイエンス社.

鈴木洋(2011) 漢方のくすりの事典：生ぐすり・ハーブ・民間薬, 第2版. 医歯薬出版.

### 〔ウェブサイト〕

『薬用植物総合情報データベース』(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所) ([mpdb.nibiohn.go.jp](http://mpdb.nibiohn.go.jp))

『今月の薬草』(日本薬学会) ([www.pharm.or.jp/herb/list.html](http://www.pharm.or.jp/herb/list.html))

『京都薬用植物園』(武田薬品工業株式会社) (<https://www.takeda.com/jp/about/local-locations/botanical-garden/>)

『くすりの博物館 薬草に親しむ』(株式会社エーザイ) ([www.eisai.co.jp/museum/herb/index.html](http://www.eisai.co.jp/museum/herb/index.html))

『自然毒のリスクプロファイル』(厚生労働省) ([www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/](http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/))

『自然毒』(消費者庁) ([www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/food\\_safety/food\\_safety\\_portal/natural\\_poison/](http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/food_safety/food_safety_portal/natural_poison/))

『有毒植物による食中毒に注意しましょう』(厚生労働省) ([www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/yuudoku/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/yuudoku/index.html))

## Ⅷ. 質問への対応方法

原則として随時受け付ける。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
<b>医師としてのプロフェッショナリズム</b> 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
<b>能動的学修能力</b> 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	○
<b>地域医療の理解</b> 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
<b>国際性</b> 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	
<b>リサーチマインド</b> 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

作製した植物図鑑は添削のうえ返却する。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

シラバス別冊に記載。

XII. コアカリ記号・番号

PR-03-01-01, RE-01-01-02